

Cisco Business 350シリーズスイッチの手動またはCLIによるリセット

目的

Cisco Small Businessスイッチのリロード機能は、設定の特定の変更で設定を完全に適用するために再起動が必要な場合、またはデバイスが期待どおりに機能していない場合に便利です。ネットワークデバイスの設定は、デバイスの再起動後に反映されます。

リセット機能は、ネットワークデバイスの実行または現在の設定を削除し、元のデフォルト設定に戻すために使用します。デバイス全体を再設定する必要がある場合は、手動リセットを推奨します。

この記事では、Cisco Business 350シリーズスイッチを手動でリセットする方法、およびCLIを使用したリロードまたはリセット方法について説明します。

該当するデバイス | ソフトウェアバージョン

- CBS350 ([データシート](#)) | 3.0.0.69 ([最新版をダウンロード](#))
- CBS350-2X([データシート](#)) | 3.0.0.69 ([最新版をダウンロード](#))
- CBS350-4X([データシート](#)) | 3.0.0.69 ([最新版をダウンロード](#))

スイッチの手動リセット

スイッチが動作せず、Webベースのユーティリティを使用してリセットできない場合、スイッチを手動でリセットして、工場出荷時のデフォルト設定に戻すことができます。

手順 1

スイッチからすべてのイーサネットケーブルを取り外します。

手順 2

ピンを使用して、スイッチのリセットボタンを15 ~ 20秒間押し続けます。

手順 3

すべてのポートの発光ダイオード(LED)が点灯したら、リセットボタンを放します。

TelnetおよびSSHサービスは、デフォルトで無効になっています。シリアルケーブルを介してスイッチに直接接続されているコンピュータを使用して、スイッチのコンソールにアクセスする必要があります。

手順 4

シリアルケーブルを使用して、コンピュータをスイッチに直接接続します。

手順 5

スイッチコンソールにログインします。デフォルトのユーザ名とパスワードはcisco/ciscoです。

```
User Name:cisco
Password:*****
```

手順 6

ネットワークの保護を強化するために、新しいパスワードを設定するよう求められます。キーボードのYを押してはいを押し、Nを押します。

```
Please change your password from the default settings. Please change the password
for better protection of your network. Do you want to change the password (Y/N) [
Y] ?Y
```

この例では、Yを押します。Nを押した場合は、ステップ9に進みます。

ステップ 7 (オプション)

古いパスワードを入力し、キーボードのEnterキーを押します。

```
Please change your password from the default settings. Please change the password
for better protection of your network. Do you want to change the password (Y/N) [
Y] ?Y
Enter old password *****
```

ステップ 8 (オプション)

新しいパスワードを入力して確認し、キーボードのEnterキーを押します。

```
Please change your password from the default settings. Please change the password
for better protection of your network. Do you want to change the password (Y/N) [
Y] ?Y
Enter old password : *****
Enter new password : *****
Confirm new password: *****

switche6f4d3#
```

[ステップ9](#) : 次のように入力して、スイッチのグローバルコンフィギュレーションモードに入ります。

```
CBS350#configure terminal
```

手順 10 (オプション)

スイッチのホスト名を変更するには、次のように入力します。

```
CBS350(config)# hostname [hostname]
```

手順 11 (オプション)

スイッチでTelnetサービスを有効にするには、次のコマンドを入力します。

```
CBS350(config)# ip telnet server
```

手順 12 (オプション)

スイッチでSSHサービスを有効にするには、次のコマンドを入力します。

```
CBS350(config)# ip ssh server
```

CLIによるスイッチの手動リロード

使用できるコマンドは、デバイスの正確なモデルによって異なる場合があります。

手順 1

スイッチコンソールにログインします。デフォルトのユーザ名とパスワードはcisco/ciscoです。新しいユーザ名またはパスワードを設定している場合は、クレデンシャルを入力します。

```
User Name:cisco
Password:*****
```

この例では、スイッチはSSH経由でアクセスされます。

重要：スイッチがリロードされると、実行コンフィギュレーションファイルは削除されます。リロード手順に進む前に、データの損失を避けるために、すべての実行コンフィギュレーション設定を必ず保存してください。

手順 2

スイッチの特権EXECモードで、次のように入力して、設定をスタートアップコンフィギュレーションファイルに保存します。

実行コンフィギュレーション設定を保存せずに続行する場合は、ステップ4に[進みます](#)。

```
CBS350(config)#copy running-config startup-config
```

手順 3

Overwrite file [startup-config]..プロンプトが表示されれば、キーボードの[Yes]にYを押すか、[No]にNを押します。

```
copy running-config startup-config
Overwrite file [startup-config]... (Y/N)[N] ?Y
19-May-2017 15:09:52 %COPY-I-FILECPY: Files Copy - source URL running-config des
tination URL flash://system/configuration/startup-config
19-May-2017 15:09:54 %COPY-N-TRAP: The copy operation was completed successfully
```

手順 4

スイッチをリロードするには、次のいずれかのコマンドを入力します。

- **reload**: reloadコマンドを使用して、スイッチをただちにリロードします。
- **reload {{in hhh:mm | mmm | at hh:mm [day month]}}** : このコマンドを使用して、スイッチのリロードをスケジュールします。

- hhh:mm | mmm – イメージのリロードを、指定した分または時間および分で有効にするようにスケジュールします。リロードは約24日以内に行う必要があります。

- at hh:mm – 指定した時刻に24時間形式でイメージのリロードをスケジュールします。月と日を指定すると、指定した日時にリロードが実行されるようにスケジュールされます。月と日を指定しない場合、リロードは現在の日付の指定時刻（指定した時刻が現在の時刻より後の場合）また

は次の日付（指定した時刻が現在の時刻より前の場合）に実行されます。00:00を指定すると、午前0時のリロードがスケジュールされます。リロードは24時間以内に行う必要があります。

このオプションは、スイッチのシステム時刻設定が設定されている場合にのみ使用できます。手順については、[ここをクリック](#)してください。

- day:1 ~ 31の範囲の日の番号。

- month - 1月から12月までの範囲の年の月。

```
CBS350#reload at 10:00 11 Apr
```

この例では、reload at 10:00 11 Aprが使用されています。

手順 5

Thisコマンドでシステム全体がリセットされ、現在のセッションプロンプトが表示されたら、キーボードのYesに対してYを押し、Noに対してNを押します。

```
#reload at 10:00 11 Apr
This command will reset the whole system and disconnect your current session. Re
load is scheduled for 10:00:00 UTC Tue Apr 11 2017 (in 25 hours and 46 minutes).
Do you want to continue ? (Y/N)[N] Y
SG350X#10-Apr-2017 08:14:02 %KNDUMISC-N-SRACTIVE: system is scheduled to perform
a restart at 10:00:00 Tue Apr 11 2017 (in 25 hours and 45 minutes).
```

ステップ 6 (オプション)

スケジュールされたリロードに関する情報を表示するには、次のように入力します。

```
CBS350#show reload
```

ステップ 7 (オプション)

スケジュールされたリロードをキャンセルするには、reloadcancelコマンドを入力します。

```
CBS350#reload cancel
```

スケジュールされたリロードが中止されたことが通知されます。

これで、CLIを使用してCisco Business 350シリーズスイッチを正常にリロードできました。

次の例では、即時リロードが使用され、両方の質問にYと入力されています。

```
#reload
You haven't saved your changes. Are you sure you want to continue ? (Y/N)[N] Y
This command will reset the whole system and disconnect your current session.
Do you want to continue ? (Y/N)[N] Y
Shutting down ...
Shutting down ...
packet_write_wait: Connection to 192.168.100.101 port 22: Broken pipe
```

CBS350スイッチに関する詳細な記事をお探しですか？詳細については、次のリンクを参照してください。

[IPアドレスの設定](#) [スタック設定](#) [スタックモードセクタ](#) [スタッキングのガイドライン](#) [SSHユー](#)

[ザ認証](#) [SSHサーバ認証](#) [パスワードの回復](#) [PuTTYによるCLIへのアクセス](#) [VLANの作成](#) [スイッチのリセット](#)